

11月の米国ハイ・イールド債券は大幅続伸

ポイント



1. 11月の米国ハイ・イールド債券市場概況
2. 新型コロナ感染は2021年半ばにピークアウトへ
3. 今後の経済・市場見通し

1. 11月の米国ハイ・イールド債券市場概況

11月の米国ハイ・イールド債券は続伸

11月の米国ハイ・イールド債券市場は+4.01%のリターンとなりました。米5年国債利回りは前月末比で▲0.02%とほぼ横ばいとなり、対米5年国債スプレッドは▲1.01%の大幅縮小となりました。

11月は、ファイザーやモデルナのワクチンの有効性への期待や、2021年半ば以降の景気回復ならびに後半には加速するとの期待などから、米国ハイ・イールド債券市場は上昇しました。新型コロナウイルスの感染再拡大の中、米大統領選挙の結果と景気回復期待が市場を支えました。

低格付けカテゴリーがアウトパフォーム

格付別の月間リターンは、CCC格以下+7.35%、B格+3.49%、BB格+3.48%、となり、CCC格以下が米国ハイ・イールド債券市場全体をアウトパフォームしました。セクター別月間リターンでは、エンターテイメント+15.80%、空輸+11.58%、出版+10.42%がアウトパフォームし、輸送+1.41%、レストラン+1.56%、環境+1.81%がアンダーパフォームしました。

米国ハイ・イールド債券市場の動向

	リターン		利回り	
	11月	年初来	11月	前月比
米国ハイ・イールド債券指数 (全体)	4.01%	4.09%	4.74%	-1.03%
格付け別				
BB格	3.48%	6.29%	3.52%	-0.81%
B格	3.49%	1.39%	5.00%	-1.12%
CCC格以下	7.35%	0.31%	9.45%	-2.09%
セクター別				
エンターテイメント	15.80%	-25.20%		
空輸	11.58%	-21.66%		
出版	10.42%	13.07%		
環境	1.81%	6.15%		
レストラン	1.56%	2.85%		
輸送	1.41%	3.41%		
米国債 (5年)	0.16%	7.10%	0.36%	-0.02%
米国債 (10年)	0.31%	11.22%	0.84%	-0.02%

時点：2020年11月末時点

セクターについては、11月リターンの上位3業種と下位3業種をあげています。使用している指数については、P4をご参照ください。

(出所) ICE、ブルームバーグのデータを基に野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しします投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

2. 新型コロナ感染は2021年半ばにピークアウトへ

ワクチン開発および実用化状況

11月の米大統領選挙が終了して間もなく、ワクチン開発に関する明るいニュースが相次ぎました。最初に出てきたのはファイザーがビオンテックと共同開発中のワクチンで、最終治験で90%超の予防効果があるとの驚異的な発表をしました。その後もモデルナ、アストラゼネカ(オックスフォード大学と共同開発)と続き、どれも高い有効性を示しました。

ファイザーのワクチンは英国で緊急承認され、高齢者や医療関係者などへの接種が始まり、今後の経済正常化への期待が高まっております。

ワクチン実用化が経済回復へ

現在、米国は新型コロナウイルスの感染第3波に見舞われており、1日当たりの新規感染者数が20万人、死者が2,000人を超えるなど、厳しい状況にあると見られます。

しかし、米国でもワクチン接種は12月から始まり、2021年上半期には全米に展開される見込みです。ワクチン接種を受ける人が増えるにつれて、新規感染者数は第2四半期に減少し始めると考えられています。年半ば頃には、レストラン、旅行、カジノ、レジャー、その他の多くの新型コロナウイルス感染症に敏感なセクターで力強い回復が起こり、2021年下半年期には更に力強い成長が期待されます。

現在は州レベルで感染拡大防止策が行なわれており、2021年第1四半期は穏やかな回復に留まると見られますが、市場はその先の経済回復に期待すると考えられます。

掲載されている個別の銘柄については、参考情報を提供することを目的としており、特定銘柄の売買などの推奨、また価格などの上昇や下落を示唆するものではありません。上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しします投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

開発中の主要ワクチン・ラインナップ

米ファイザー/独ビオンテック

- ・有効性：最終治験において90%超の予防効果あり
- ・保存：マイナス70℃以下で最大半年保存可能
2～8℃で5日間可能
- ・実用：12/8より英国で大規模接種開始
- ・米国での承認：12月中旬にもFDA承認見込み

米モデルナ

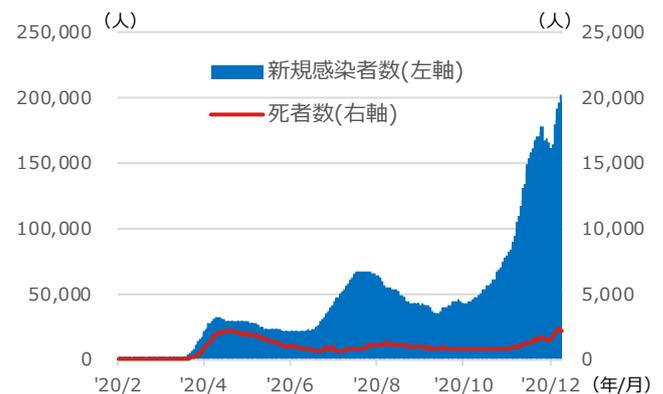
- ・有効性：最終治験において約95%の予防効果あり
- ・保存：マイナス20℃以下で最大半年保存可能
2～8℃で30日間可能
- ・米国での承認：12月中旬にもFDA承認見込み

英アストラゼネカ/英オックスフォード大学

- ・有効性：最終治験において平均70%の予防効果あり
- ・保存：通常の冷蔵庫で保存が可能
- ・米国での承認：年明け以降の見込み
- ・価格：ファイザー製やモデルナ製の数分の一

※FDA：米国食品医薬品局
(出所) 各種情報より野村アセットマネジメント作成

米国の新型コロナウイルス感染状況



期間：2020年2月1日～2020年12月8日、日次

※データは7日間平均

(出所) ブルームバーグのデータを基に野村アセットマネジメント作成

3. 今後の経済・市場見通し

今後の経済見通し

前ページでご説明した通り、新型コロナウイルスの感染ピークアウトは来年半ば以降となる見込みであり、当面の米国経済の注目点は追加経済対策の行方とFRB(米連邦準備制度理事会)の金融政策であると考えています。

米国の議会は現在、9,000億米ドルの財政刺激策を検討していますが、年末までに通過するのか、1月20日のバイデン氏の大統領就任まで時間を要するのかが不明です。ねじれ議会であることを考慮すると、税制や規制に関する大幅な変更はない一方で、追加のインフラ投資や景気刺激策、規制変更は行なわれる可能性があります。その間、FRBは金融緩和を継続します。12月の会合では資産購入の基準を明確にするかもしれませんが、金融緩和の終了は当分先であると考えています。

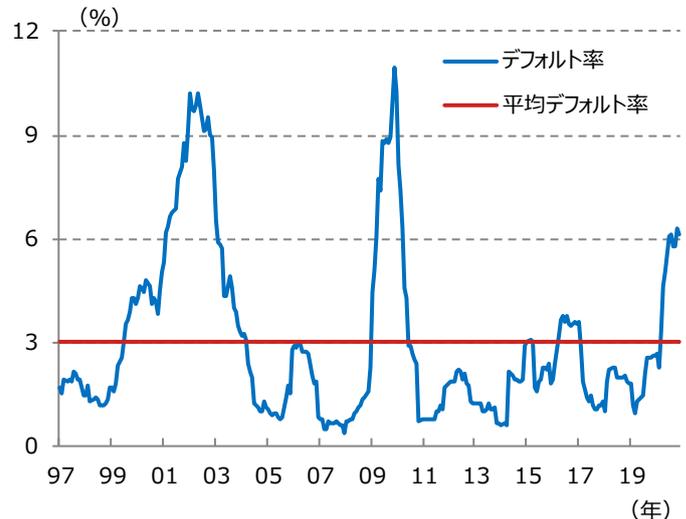
今後の市場見通し

米国ハイ・イールド債券市場のデフォルト率(金額ベース)は11月末で6.15%となり、10月末(6.33%)の水準から低下しました(右上図参照)。今後12カ月の米国ハイ・イールド債券市場のデフォルト率は低下傾向で推移すると予想しています。

11月末時点で、米国ハイ・イールド債券市場の利回りは4.74%、対5年国債スプレッドは4.38%となりました(右下図参照)。前月よりは大幅に縮小しましたが、健全な米国経済において想定されるスプレッドよりも依然として拡大した水準と考えており、クオリティの高い銘柄が割安な水準に置かれており、中長期視点で見ても有望な投資先の一つであると考えています。

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

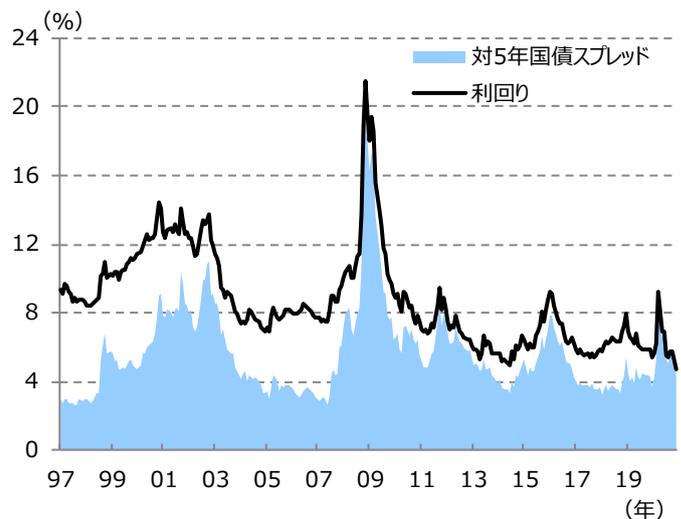
米国ハイ・イールド債券のデフォルト率の推移



期間：1997年1月末～2020年11月末、月次

※ 平均デフォルト率は、1997年1月末～2020年11月末の平均値
(出所) JPモルガンのデータを基に野村アセットマネジメント作成

米国ハイ・イールド債券の利回り、スプレッドの推移



期間：1997年1月末～2020年11月末、月次

※ スプレッドは米5年国債利回りとの差
使用している指数については、P4をご参照ください。
(出所) ICEのデータを基に野村アセットマネジメント作成

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しします投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

<当資料で使用した指数について>

米国ハイ・イールド債券指数(全体) : ICE BofA U.S. High Yield Constrained Index SM/®

米国ハイ・イールド債券指数(BB格) : ICE BofA U.S. High Yield BB Rated Constrained Index SM/®

米国ハイ・イールド債券指数(B格) : ICE BofA U.S. High Yield B Rated Constrained Index SM/®

米国ハイ・イールド債券指数(CCC格以下) : ICE BofA U.S. High Yield CCC and Lower Rated Constrained Index SM/®

米国ハイ・イールド債券指数(各セクター指数) : ICE BofA U.S. High Yield Index SM/®の各セクター指数

米国債券 : ICE BofA Current 5/10-Year US Treasury Index SM/®

<当資料で使用した指数の著作権等について>

- 「ICE BofA U.S. High Yield Constrained Index SM/®」は、米国ハイ・イールド債市場のパフォーマンスを表す代表的な指数です。
- 「ICE BofA U.S. High Yield BB Rated Constrained Index SM/®」、「ICE BofA U.S. High Yield B Rated Constrained Index SM/®」、「ICE BofA U.S. High Yield CCC and Lower Rated Constrained Index SM/®」は、「ICE BofA U.S. High Yield Constrained Index SM/®」のうち、それぞれ、BB格、B格、CCC格以下の社債を集合させた指数です。
- 「ICE BofA U.S. High Yield Index SM/®の各セクター指数」は、「ICE BofA U.S. High Yield Index SM/®」のうち、各セクターの社債を集合させた指数です。
- 「ICE BofA Current 5/10-Year US Treasury Index SM/®」は、米国5/10年国債のパフォーマンスを表す代表的な指数です。
- 当該指数はICE Data Indices, LLCまたはその関連会社の登録商標です。当該指数に関する一切の知的財産権その他一切の権利はICE BofAに帰属しております。

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しします投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

野村アセットマネジメント

野村アセットマネジメントからのお知らせ

■ ご注意

下記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、野村アセットマネジメントが運用するすべての公募投資信託のうち、投資家の皆様にご負担いただく、それぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面をご覧ください。

■ 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価格が変動します。したがって投資家の皆様のご投資された金額を下回り損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面をよくご覧ください。

■ 投資信託に係る費用について

以下の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

2020年12月現在

ご購入時手数料 《上限3.85%（税込み）》	投資家が投資信託のご購入のお申込みをする際に負担する費用です。販売会社が販売に係る費用として受け取ります。手数料率等については、投資信託の販売会社に確認する必要があります。 投資信託によっては、換金時（および償還時）に「ご換金時手数料」等がかかる場合もあります。
運用管理費用（信託報酬） 《上限2.222%（税込み）》	投資家はその投資信託を保有する期間に応じてかかる費用です。委託会社は運用に対する報酬として、受託会社は信託財産の保管・管理の費用として、販売会社は収益分配金や償還金の取扱事務費用や運用報告書の発送費用等として、それぞれ按分して受け取ります。 * 一部のファンドについては、運用実績に応じて報酬が別途かかる場合があります。 * ファンド・オブ・ファンズの場合は、一部を除き、ファンドが投資対象とする投資信託証券の信託報酬等が別途かかります。
信託財産留保額 《上限0.5%》	投資家が投資信託をご換金する際等に負担します。投資家の換金等によって信託財産内で発生するコストをその投資家自身が負担する趣旨で設けられています。
その他の費用	上記の他に、「組入価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料」、「ファンドに関する租税」、「監査費用」、「外国での資産の保管等に要する諸費用」等、保有する期間等に応じてご負担いただく費用があります。運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください、ご自身でご判断下さい。

商号：野村アセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第373号
 加入協会：一般社団法人投資信託協会／
 一般社団法人日本投資顧問業協会／
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会